

**8cmユニット用バックロードホーン
エンクロージャー組立キット (1台)**



WP-SP089BH

組立説明書

Ver.1

**スピーカーユニット
は別売です**

**スピーカーユニット
取付穴径・・・72mm**

KYORITSU
共立電子産業株式会社

●内部構造写真



●必要な工具

- ・プラスドライバー
- ・ハンダごて
- ・ニッパー
- ・ハタガネ(6本～8本)
- ・ドリルビット 2.5Φ(2.8)Φ
- ・鉛筆
- ・ハンダごて(20W～40W)
- ・ハンダ
- ・ワイヤーストリッパー
- ・電動ドリル
- ・モノサシ(50cm & 1m)



ハタガネ

●主な仕様

- ・外形寸法 幅140mm 高さ540mm 奥行き300mm
- ・重量 6.5Kg (スピーカーユニット含まず)

●お断り

・本製品およびそれらを構成するパーツ類は、改良・性能向上のため予告なく仕様・外觀等を変更する場合がありますをあらかじめご了承ください。
 ・本製品は組立キットまたは半完成品です。製作作業中の安全確保のため説明書をよくお読みになり、正しい工具の使用・手順を守ってください。
 ・完成品でない商品の性格上、組み立て後にお客様が期待される性能・品質・安全運用等の保証はできません。完成後はお客様(組立業者)ご自身の責任のもとでご使用ください。
 ・本製品は機器への組み込み他、工業製品としての使用を想定した設計は行っておりません。また本製品に起因する直接、間接の損害につきましては当社修理サポートの規定範囲を超えての補償には応じられません。

販売元:共立電子産業株式会社

共立プロダクツ事業所

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋5-8-26

TEL 06-6644-4447 FAX 06-6644-4448

●このキットに含まれるパーツ

①板材・・・15枚(添付されている「構造図」と照合してください)



②スピーカーケーブル
45cm(1本)



③吸音材
20cm×11cm(1枚)



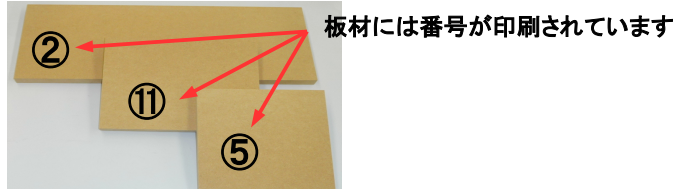
④ターミナル(1個)
取付ネジ(2本)

*木工用接着剤(ボンドなど)は別途ご用意ください

●組み立ての前に・・・

・板材には、添付されている「構造図」と同じ番号が印刷されています
 板材が「15枚」揃っているか確認してください
 なお、板①、板②および板⑩は同じものが2枚あります

・組み立てるときには、この番号が外から見えないように位置を決めてください



●推奨スピーカーユニット・・・取付穴径は72mmで共通ですが、取付ネジ(4カ所)の位置が異なります



**FOSTEX
FE83NV2** 中～高域が華やかで前に出る音
「大音量再生」で低域～高域のバランスが良くなります



**WonderPure
(共立電子)
WP-FL08** 低域から高域までバランスのとれた自然な音
一般家庭における「小音量再生」で真価を発揮します

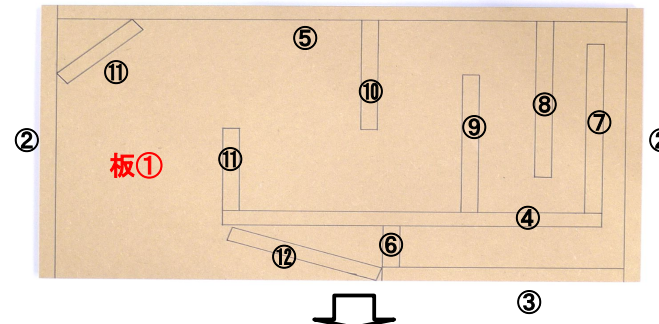
●組み立てかた

この説明書は、組立手順の一例を記載しています
 慣れておられる方は自分なりの順序で組立ただいて結構です
添付の「構造図」を参考にしてください

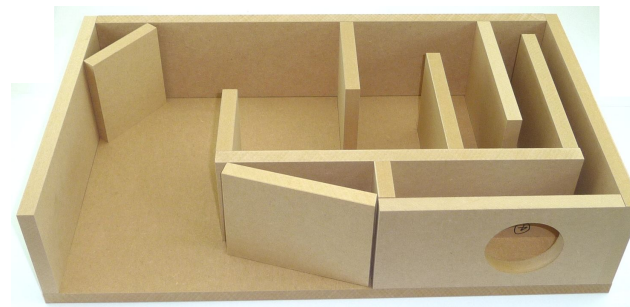
この説明書は「FE83En」スピーカーユニットを使用していますが
 他のユニットでも組み立てかたは同じです。

[1] 板①に、接着する他の板の位置をマーキングします

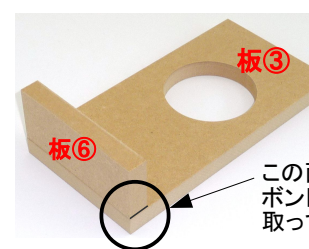
添付の「構造図」を見ながらモノサシと鉛筆で線を引いてゆきます
 (以下マーキングといえます)
 板①は2枚ありますが**マーキングはどちらか1枚でOKです**



すべての板を「仮置き」して位置関係を確認しておきます



[2] 板③に、板⑥を接着します



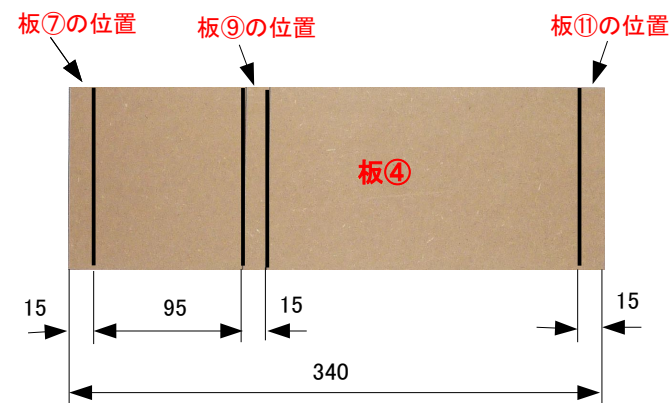
板⑥の端面にボンドを塗って板③の上に乗せず
 しばらく「手」で押えてボンドの乾燥を待ちます

この面(および反対側)にハミ出たボンドは「濡れぞうきん」などで拭き取っておきます

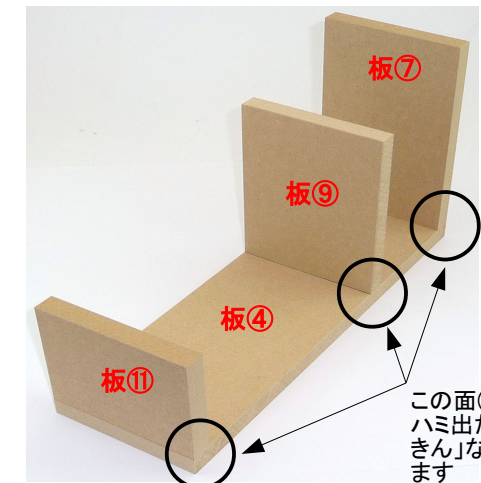
5～10分待つとボンドが固まってきますので、その後、次の作業にすすみます

[3] 板④に、板⑦⑨⑩を接着します

板④の上に板⑦⑨⑩の位置をマーキングします



マーキングに合わせて板3枚を接着します

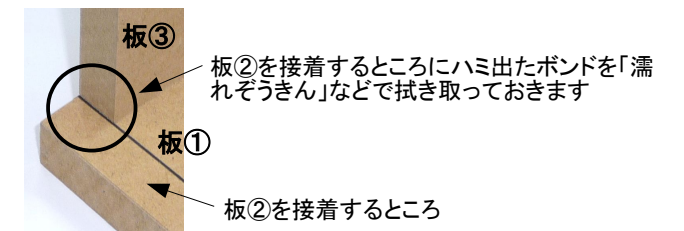
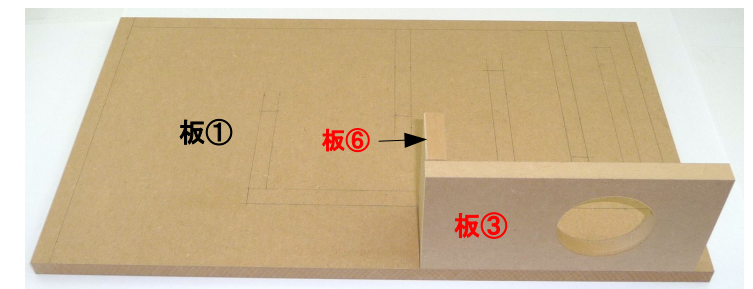


この面(および反対側)にハミ出たボンドは「濡れぞうきん」などで拭き取っておきます

板⑦、⑨、⑩が、板④と直角になっているか「直角定規(三角定規)」などで確認します
 直角になっていないときはボンドが乾燥するまでに修正しておきます

[4] 板①に、板③と板⑥を接着します

工程[2]で製作した板③と板⑥をマーキングに合わせて接着します



[5] 板①と板③に、板②を接着します

板⑤を接着するところにハミ出たボンドを「濡れぞうきん」などで拭き取っておきます



**すべての組立工程をカラー写真で
くわしく説明しています(A3×2ページ)**